

季節的な改善はみられたものの…本格的な 景気回復「当分見込めない」が66.7%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の193社。2位が「ニーズの変化への対応」の69社。「取引条件の悪化」が61社で3位。
- ★ 「三次市が将来に向けて力を入れるべきことは？（上位3つを選択）」という問いに対し、1位が「地場企業の支援・育成」の125社。2位が「企業誘致」で70社。その他、ベスト5には、3位「観光振興」の63社、4位「過疎対策」の62社で、同数の5位に「医療の充実」と「行財政改革」の51社。
- ★ 「現在の雇用人員」について、79.7%（185社）が「適正」と回答。「過剰」の5.6%（13社）に対し、「不足」は2倍以上の14.7%（34社）だった。

平成22年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成23年1月に実施した第83回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が83回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は248社（小売業70社、卸売業36社、製造業37社、建設業62社、運輸・交通業14社、観光・サービス業29社）で回収率は49.6%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲16.0と、3ヶ月前の前回調査▲29.9から13.9ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の2.5%、「やや好転」が22.2%で、逆に「やや悪化」が31.7%、「かなり悪化」が9.1%だった。同様に、売上D.Iも20.1ポイント改善して▲8.6。採算D.Iについても20.3ポイント改善して▲21.1。原材料（商品）仕入価格は14.6から23.6と上昇傾向。

今回事業所に対し、「景気回復の時期」について尋ねたところ、「当分回復の見込みはない」が66.7%（160社）と最も多かった。「平成23年下期」が16.3%（39社）で続いたが、「平成23年上期」0.8%（2社）と合わせても17.1%（41社）に過ぎず、全体としては先行きに対する認識は依然として厳しい状況がうかがえる。ただ、平成20年を底に、非常に緩やかではあるが、回復傾向の兆しも少なからずうかがえる面もある。ちなみに、「すでに回復」と回答したのはわずか0.8%（2社）。そんな中、「三次市が将来に向けて力を入れるべきこと」については、「地場企業の支援・育成」が125社で最多。続いて「企業誘致」が70社、「観光振興」が63社と、雇用維持や新たな雇用の創造、交流人口の増加など、景気回復に直結し易い施策が優先的に望まれている。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

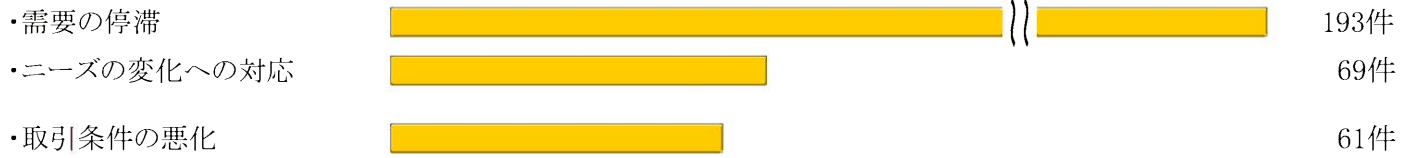
業況は、全業種合計で今期▲16.0。業種別では、改善幅に差はあるものの、運輸・交通業を除く5業種で改善。政府の施策（減税やエコポイント等）や駆け込み需要、季節的な要因なども重なり、4年ぶりの高水準ではあったが、先行きについては、▲39.6と予想しており、先行き不安感は拭えない。

売上は、全業種合計で今期▲8.6。業種別に見ても、すべての業種で改善。ただ、増加傾向と回答した73社のうち6割弱の42社が「季節的な増加」とし、継続的な売上増は望めそうにない。

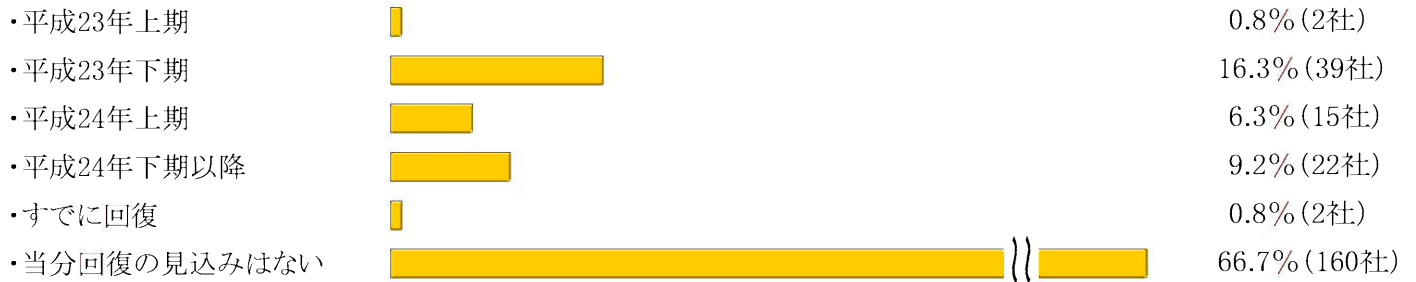
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期23.6。業種別では、建設業を除く5業種で上昇傾向。回答数は少ないが、運輸・交通業が7.7から41.7と大幅な上昇をしており、ここに来て再び、ガソリン・軽油価格が上昇してきているように思われる。

採算は、全業種合計で今期▲21.1。業種別では、売上同様、すべての業種で改善。そんな中、数字的には卸売業、製造業の2業種で、比較的好転傾向にあったが、回答数が最も多い小売業と次に多い建設業が、ワースト2を占めており、全体的には、まだまだ厳しい状況には変わらない。

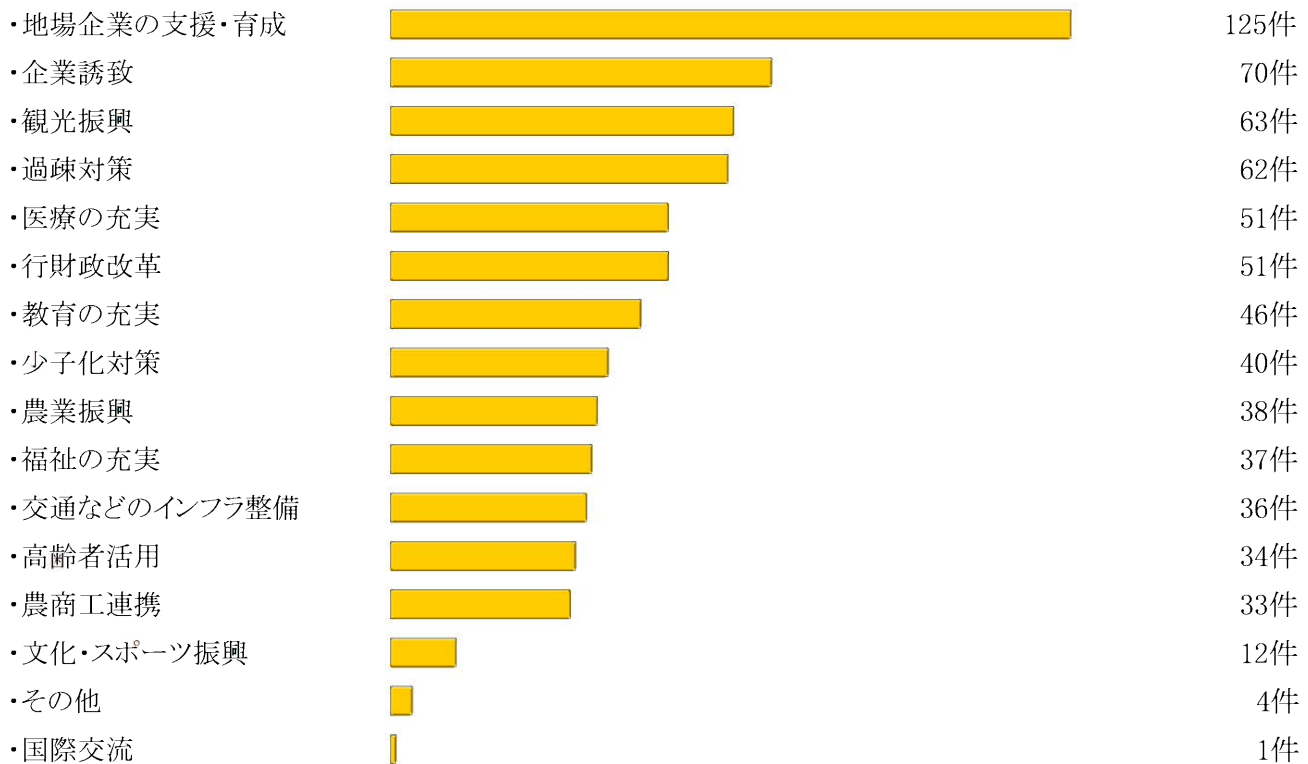
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか？】



【三次市が将来に向けて力を入れるべきことは？(上位3つを選択)】



【現在の雇用人員をどのようにお考えでしょうか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 16.0	▲ 39.6
小売業	▲ 17.4	▲ 41.2
卸売業	0.0	▲ 36.4
製造業	▲ 5.4	▲ 27.0
建設業	▲ 14.8	▲ 38.7
運輸・交通	▲ 42.9	▲ 35.7
サービス業	▲ 37.0	▲ 61.5

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 8.6	▲ 37.2
小売業	▲ 8.7	▲ 34.8
卸売業	14.3	▲ 39.4
製造業	▲ 2.7	▲ 16.2
建設業	▲ 11.3	▲ 37.1
運輸・交通	▲ 21.4	▲ 35.7
サービス業	▲ 32.1	▲ 70.4

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

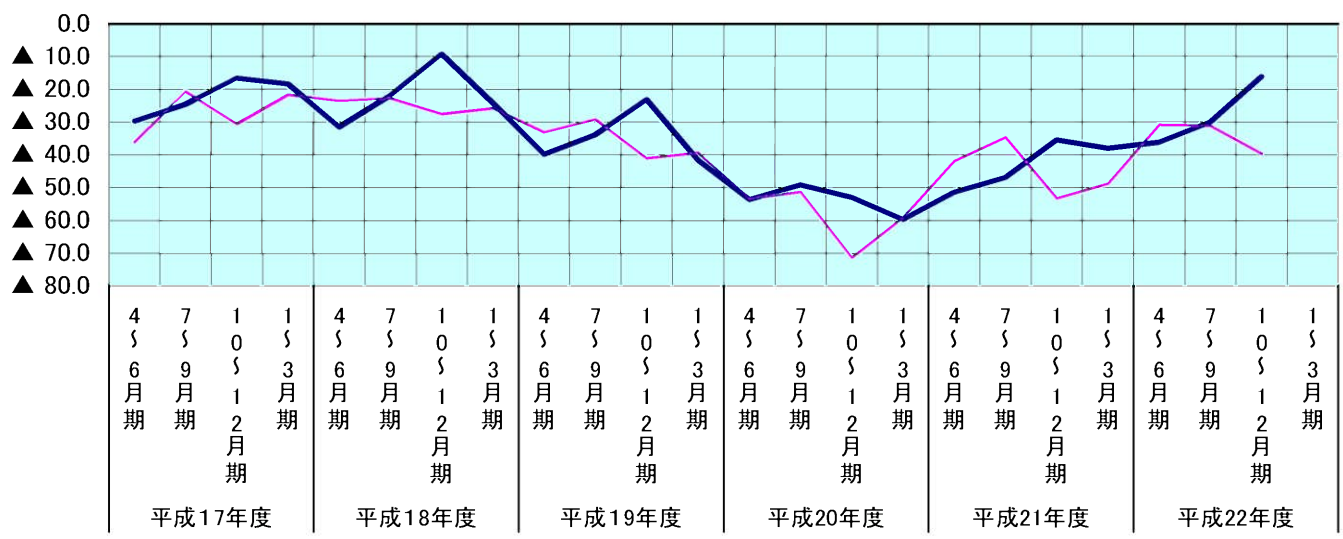
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 21.1	▲ 44.4
小売業	▲ 28.6	▲ 41.8
卸売業	2.8	▲ 50.0
製造業	▲ 10.8	▲ 30.6
建設業	▲ 30.6	▲ 50.0
運輸・交通	▲ 21.4	▲ 21.4
サービス業	▲ 25.0	▲ 61.5

(好転割合－悪化割合)

全業種

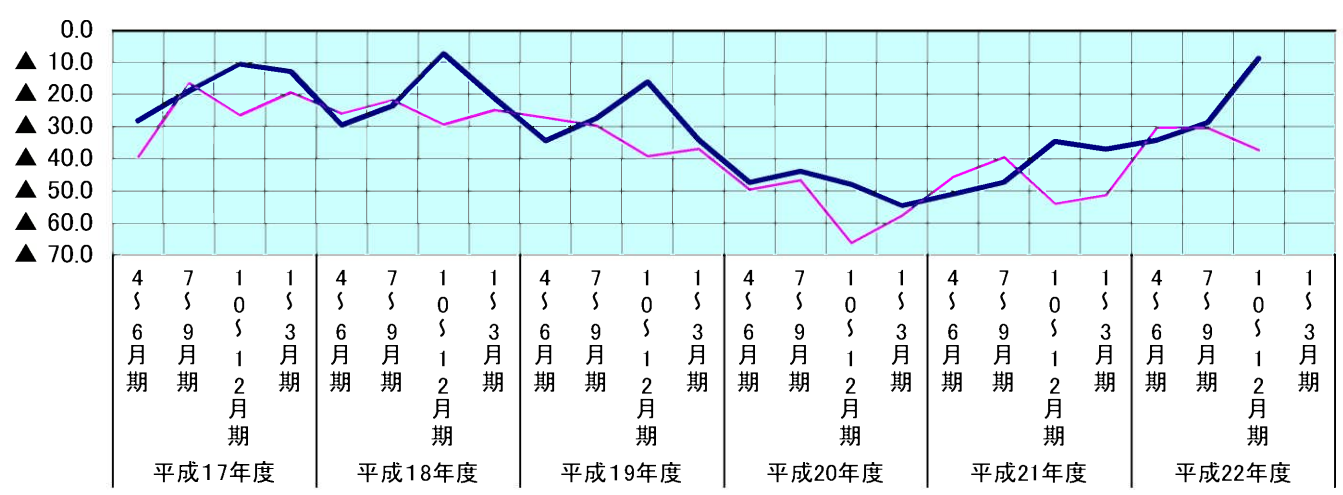
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



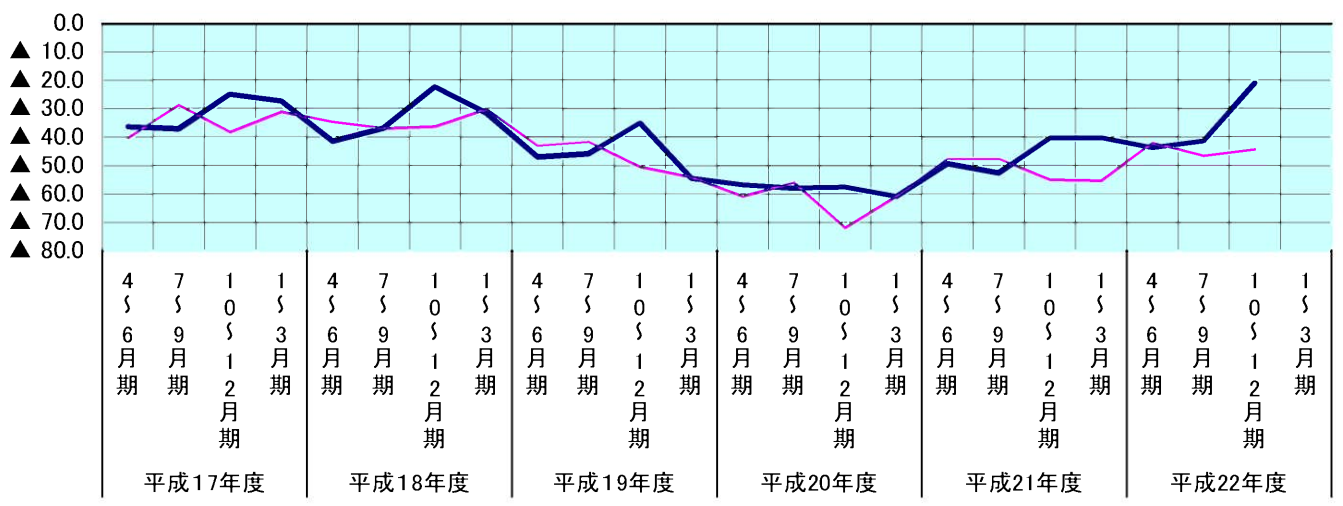
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し







































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い